

# 集落地域の活性化と 中間支援組織について考える 全国ワークショップ

東京

全国各地で中間支援組織による取り組みが展開されている。集落地域の活性化を支援する中間支援組織はまだ少ないが、地域からの期待は大きい。この全国ワークショップでは、村上市・三次市で開催したワークショップの議論を踏まえ、こうした役割を担う中間支援組織の実情を明らかにし、社会的意義の重要性を示しつつ、これからの発展の方策を議論する。

日 時：2012年3月12日(月) 開場 13時00分

開演 13時30分～ 17時00分(終了後 1Fにて交流会)

場 所：早稲田大学創造理工学部 63号館 2F 03会議室

(東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 出口3(早大理工方面口 直結))

主 催：国土交通省国土政策局

運 営：一般財団法人日本地域開発センター

参加者：林 泰義

(株)計画技術研究所 所長

齋藤主税

NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター 事務局長

安藤周治

NPO 法人ひろしまね 理事長

小田博之

島根県邑南町、口羽地区振興協議会 理事

鈴木信之

新潟県村上市、高根フロンティアクラブ

鞍打大輔

NPO法人日本上流文化圏研究所 主任研究員

坂元英俊

財団法人阿蘇地域振興デザインセンター 事務局長

中村年春

NPO法人NPO推進青森会議 理事長、大東文化大学教授

曾根原久司

NPO法人えがおつなげて 代表理事

黍嶋久好

NPO法人三遠南信アミ 理事、愛知大学地域連携事業推進責任者

菊池新一

NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク マネージャー

後藤春彦

早稲田大学創造理工学部教授

参加対象：中間支援組織団体、地域づくり団体、関心のある方、学生、支援企業、行政職員(50～80人程度)

※リアルタイム映像配信(Ustream 利用)により、一般ネット参加者から意見を集めます。

下記の FAX または E-mailでお申し込みください。

**FAX: 03-3501-6855 E-mail: workshop2012@jcadr.or.jp**

※ご希望のをチェックしてください。

ワークショップに参加を申し込みます。(可能な範囲でご記入ください)

交流会に参加します。(会場：63号館1F ROHM SQUARE, 参加費：一般は、3000円を予定)

氏 名:

所 属:

連絡先:〒

電 話:

FAX:

E-mail:

# 集落地域の活性化と中間支援組織について考える

## 全国ワークショップ

### プログラム

13:30 開 会 日本地域開発センター

13:30 開会挨拶 趣旨説明 国土交通省大臣官房審議官(国土政策局担当) 川上征雄

13:40 全体進行 (株)計画技術研究所所長 林 泰義

13:45 ワークショップ(WS)報告

・村上WS 齋藤主税(NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター)

・三次WS 安藤周治(NPO法人ひろしまね)

14:05 パート1 集落の今はどうなっているか?

・集落機能を支える活動へ 小田博之(口羽地区振興協議会)

・集落に根ざした地域づくり団体へ 鈴木信之(高根フロンティアクラブ)

・コメント 「集落は何を求めているか」 後藤春彦(早稲田大学創造理工学部教授)

・全体討議

14:50 パート2 集落を元気にする中間支援組織の活躍

・限界集落が元気になるには 鞍打大輔(NPO法人日本上流文化圏研究所)

・集落間をつなぐツーリズム 坂元英俊(財団法人阿蘇地域振興デザインセンター)

・中間支援組織のマネージャーの役割とSB 中村年春(NPO法人NPO推進青森会議)

・コメント 「中間支援組織のマネジメント力」 後藤春彦

・全体討議

15:45 (休憩)

15:55 パート3 中間支援組織は、集落と都会を結ぶ絆になれるか?

・都会人を集落に呼び込むことに成功! 曾根原久司(NPO法人えがおつなげて)

・集落に飛び込んで活躍する大学人や支援員他 黍嶋久好(NPO法人三遠南信アミ)

・被災地集落支援と都市とのネットワーク 菊池新一(NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク)

・コメント 「農村と都市の交流が、国土を保全し、地域を活性化させる」 後藤春彦

・全体討議

16:50 まとめ 幾度 明(一般財団法人日本地域開発センター総括研究理事)

17:00 閉会